

# 横穴式石室と横穴墓を比べてみる

似てないよ！とよく似てるよ！

「同じ群馬県内各地にたくさんある」「石室の墓の見方を説明します。」「これは古墳時代の終りの「六世紀後半」から七世紀にかけて造られたもので、各地域ごとに異なった特徴を持っています。」

## 横穴式石室

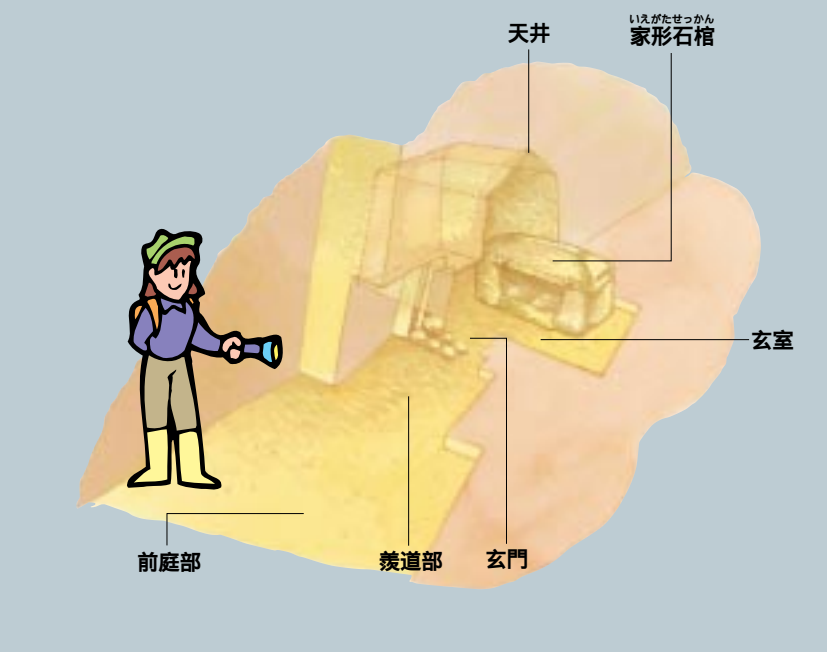
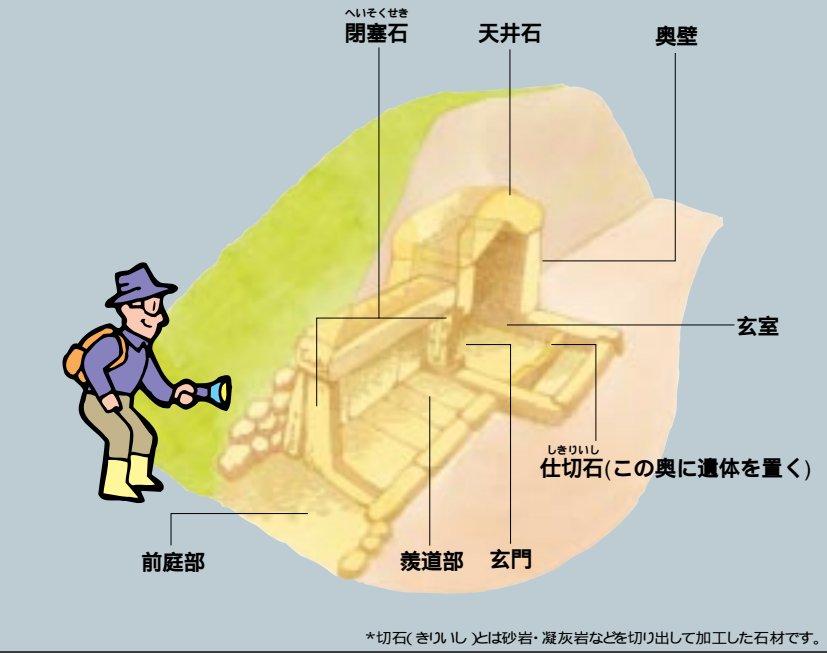
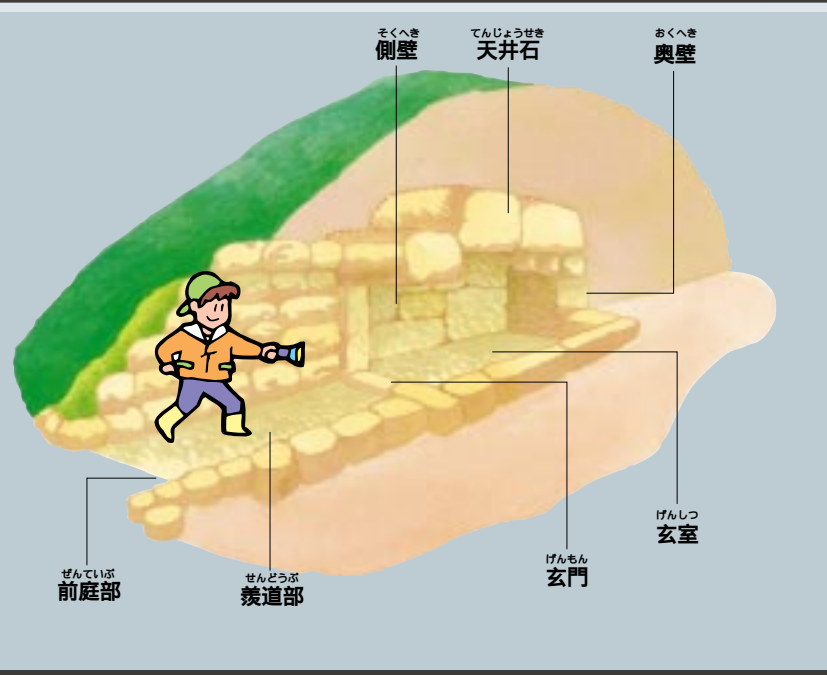
複数の石で壁を造るもの

## 石室式石室

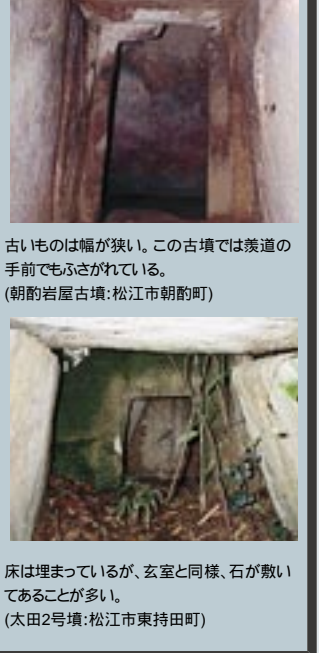
横穴式石室の一種で、大きな切石で壁を造るもの

## 横穴墓

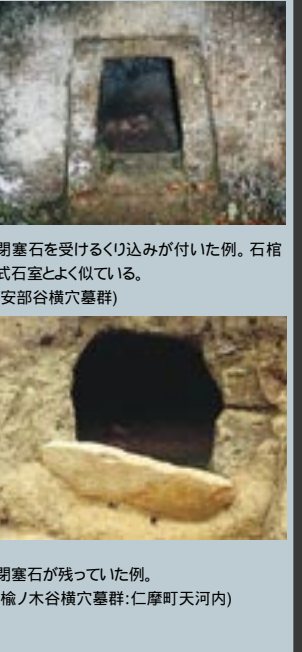
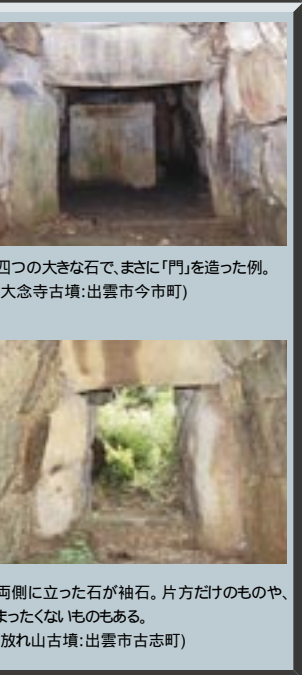
山の斜面を掘り込んで部屋を造るもの



### 前庭～羨道(入口と通路)



### 玄門(室の入口)



### 玄室(主の眠る室)



### 家形石棺を調べる

横穴式石室の中に見られる家形石棺は、くり抜き式(一個の石を彫り込んで作る)が多いのですが、横穴墓にはいろいろなものがあり、ほとんどが組み合わせ式(複数の石で積木のように組み立てる)のものです。



### 横穴墓と横穴式石室

横穴式石室にはそれを覆った墳丘があり、まさに古墳と言えませんが、横穴墓にはこれまで墳丘はないものと理解されてきました。しかし最近の調査で墳丘を持つものが見つかったり、背後の山全体に段をめぐらすなど、横穴式石室との共通点があることがわかってきました。

両者の墓穴の構造が似ていることは早くから指摘されてきましたが、最近では変化の様子にも共通点が見られることから、こ

れを分けて考えるとはできなくなってきました。また、一見して横穴墓のほつが異なりがりますが、中から出てくるものに極端な差はなく、どちらの墓を通るかは極めて政治的なものであるという説も有力です。

ところで横穴式石室は大半が後世に荒らされているため、内部に遺物が残るものはまれです。これに対して横穴墓は、新しく発見されるものが多く、調査・研究が進むにつれ、石室で得られない多くの情報が集まりつつあります。

